

1 介助犬レスキューとジェシカ  
人生をかえた友情の物語



- ① ジェシカ・ケンスキー/文  
パトリック・ク・ダウネス/文  
スコット・マクーン/絵  
よしいかずみ/訳  
② BL出版  
③ 1500円  
④ E

盲導犬として生まれたレスキュー。でも訓練士に「盲導犬として向いていない」と言われ、介助犬の訓練を受けることに。

一方で、街には片足を失ってしまった少女ジェシカがいました。

共に、失意の中にいたが、レスキューとジェシカが出会い、協力し生きる姿が魅力的な一冊です。

2 「危険なジェーン」とよばれても  
世界をみちびいた知られざる女性たち2



- ① スザンヌ・スレード/文  
アリス・ラターリー/絵  
小林晶子/訳  
② 岩崎書店  
③ 1600円  
④ E

アメリカのソーシャルワークの先駆者アダムス・ジェーンの生涯を描いた作品。

「困っている人を助けなければ。」という強い意志で取り組んだ活動や戦争をやめようという平和への取組は、当時様々な批判や弾圧を受けることになります。それでも人々の幸せのために果敢に立ち向かうジェーンの姿が印象的な一冊です。

3 自転車がほしい！



- ① マリバス・ホルツ/文  
ノア・Z. ジョーンズ/絵  
尾高薫 /訳  
② 光村教育図書  
③ 1400円  
④ E

「みんなは自転車を持ってるのに、自分はいつも走ってばかり……。自転車が欲しい！」そう思っている主人公のもとに、1ドル札の落とし物。1ドル札だと思っていたのに家に帰って確かめるとなんと100ドル札。「これがあれば自転車を買えるかも」「でも」そんな葛藤の中、主人公が選んだのは……。自分だったらどうするか？そんなことを考えてしまう一冊です。

4 ヒロシマ消えたかぞく



- ① 指田和/著  
鈴木六郎/写真  
② ポプラ社  
③ 1650円  
④ E

太平洋戦争の最中、全てをうばいさってしまった原子爆弾。このお話は広島に一発の原子爆弾が落とされるまで、確かに生きていた家族のお話です。

戦争中でありながら、明るく家族の絆（きずな）を大事にしながら生活している様子が、原爆の中で焼け残った写真をもとにして語られています。

5 ライオンになるには



- ① エド・ウヰアー/さく  
きたむらさとし/やく  
② BL出版  
③ 1500円  
④ E

ライオンは、おそろしくて、あらっぼくて、乱暴な動物だと思いませんか。

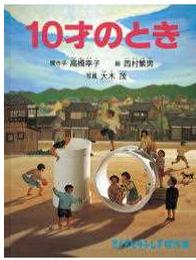
レオナルドは、やさしくて詩を書くのが好きなライオン。アヒルのマリアンヌと友達になったものの、ほかのライオンたちに「どうもうになるんだ！」と言われてしまいます。

自分らしく生きることを考える一冊です。

## 小学校中学年の本

①著者名 ②発行所 ③本体価格 ④請求記号

### 6 10才のとき



- ① 高橋幸子/聞き手  
西村繁男/絵  
大木茂/写真
- ② 福音館書店
- ③ 1300円
- ④ 28タ018

おじいちゃんやおばあちゃん、近所のおじさん・おばさん……。皆さんは周りの人たちが10才の頃どのような生活をしていたか想像できますか？この本は、友達の“10才のとき”をたずねて歩くちょっと変わった旅を提供します。出会う人は皆“10才”。いろいろな“10才”をどうぞ。

### 7 山の子テンちゃん 空から落ちてきた小さないのち



- ① 佐和みずえ/著
- ② 汐文社
- ③ 1500円
- ④ 48サ018

「テン」という動物を御存じでしょうか。ある日、ボランティア清掃の最中に犬のような、タヌキのような、なんだかよくわからない動物の赤ちゃんが天井から落ちてきました。動物病院に連れて行き、それから世話をすることになりますが……。テンちゃんの成長と命の大切さが分かる一冊です。

### 8 プラスチック・プラネット 今、プラスチックが地球をおおっている



- ① ジョージア・アムソン=ブラッドショー/作  
大山泉/訳
- ② 評論社
- ③ 2200円
- ④ 51ア019

お店から、ストローやポリ袋がなくなろうとしています。なぜでしょうか。

この本は、私たちが日常生活を送る上でなくてはならないプラスチックについて知ったり、プラスチック問題について考えたりできます。

今、私たちに何ができるのかを、SDGsの視点で考えてみましょう。

### 9 つながる



- ① 長倉洋海/著
- ② アリス館
- ③ 1400円
- ④ 74ナ019

「つながる」、この言葉から、みなさんはどのようなイメージを持ちますか。

筆者は、世界各地で出会った人々を写真に収め、人はみんな、周りをつながるための「根」のようなものを持っていることに気がきます。

この本の写真や文章をとおして、自分の「根」を伸ばしてみませんか。

### 10 めっちゃ好きやねん



- ① 新井けいこ/作
- ② 文研出版
- ③ 1300円
- ④ 91ア019

神奈川から大阪に引っ越した男の子が「なんやおもしろいなあ。」と転校初日に言われてしまい、笑いの王国大阪で、うまくやっていけるか心配になってしまいます。

はじめは周りの友達になんとか合わせようとする主人公。でも、壁を作らない大阪の友達にとって、ありのままの自分の方が受け入れてもらえるということに気付いていきます。

11 俳句ガール



- ① 堀直子/作  
高橋由季/絵
- ② 小峰書店
- ③ 1300円
- ④ 91ホ018

おばあちゃんの通う老人ホームで俳句に出会った主人公のつむぎは、ある日の放課後、もやもやした自分の思いを教室の黒板に俳句で表現します。

すると、誰かが返句をしてきて……。

素直な気持ちが気持ち良く、また、五・七・五のリズムで自分の世界を表現する俳句の魅力が感じられる一冊です。

12 あららのはたけ



- ① 村中李衣/作  
石川えりこ/絵
- ② 借成社
- ③ 1400円
- ④ 91ム019

横浜から山口に引っ越すことになった、小学4年生のえり。ある日、じいちゃんのすすめで、自分だけの小さな畑を始めることになりました。畑で見聞きしたこと、新しい生活のこと、不登校になってしまった幼なじみ、けんちゃんのことを手紙にして親友のエミに送ります。手紙の形式で物語が展開する大変面白い一冊です。

13 転校生は忍者?!



- ① もとしたいづみ/作  
田中六大/絵
- ② 佼成出版社
- ③ 1300円
- ④ 91モ018

転校生の服部しのぶは、濃紺の服を身に着け、大人っぽい雰囲気の不思議な女の子。でも、実は修行中の忍者なのです。

転校する前は忍者が住む村で生まれ育ったため、初めて忍者が周りにいない環境で過ごします。しのぶは上手く小学校になじめるのでしょうか？また、色鉛筆がなくなるという事件を解決できるのでしょうか？

14 犬がすきなぼくとおじさんとシロ



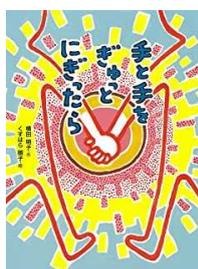
- ① 山本悦子/作  
しんやゆう子/絵
- ② 岩崎書店
- ③ 1100円
- ④ 91ヤ019

犬を飼いたいと思ったことはありますか。

小学4年生の海斗は、友達の順ちゃんが犬を飼い始めたことに刺激を受けて、「犬を飼いたい!」と思うようになります。

その後、海斗の前に現れたのは、ホームレスのおじさんが飼っている白くもない「シロ」。海斗のシロを飼いたいという気持ちは、次第に強くなっていきます。

15 手と手をぎゅっとにぎったら



- ① 横田明子/作  
くすはら順子/絵
- ② 佼成出版社
- ③ 1300円
- ④ 91ヨ019

特別支援学校を知っていますか。鹿児島県内にも16校の特別支援学校があります。

わたるたち虹川小学校の4年生は、栗の木特別支援学校で交流授業をすることになります。わたるにとって初めての特別支援学校は驚きの連続ですが、交流授業を通して心の交流に発展していきます。